

細見美術館

琳派展 XIII 京の琳派—美を愉しむ—

Rimpa Exhibition

琳派

京の琳派

— 美を愉しむ —



尾形光琳 宇治橋図団扇 細見美術館



神坂雪佳 月に秋草図団扇 細見美術館

主催 細見美術館 京都新聞
開館時間 午前十時～午後六時（入館は午後五時三十分まで）
休館日 每週月曜日（祝日の場合、翌火曜日）
入館料 一般一二〇〇円（一一〇〇円） 学生一〇〇〇円（九〇〇円） ※（）内は「十名以上の団体料金」
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町六・三
TEL 〇七五・七五二・五五五五 <http://www.emuseum.or.jp>

平成二十八年九月十日(土)～十一月六日(日)

光琳没後生3
雪佳誕0
10年、
50年。



琳派展 XVIII 京の琳派—美を愉しむ— Rimpa Exhibition Rimpa of Kyoto: The Enjoyment of Beauty 平成28年9月10日(土)～11月6日(日)

琳派展の第18弾となる本展では、光琳没後300年、雪佳生誕150年を記念し、細見コレクションより、江戸初期の本阿弥光悦、俵屋宗達から近代の神坂雪佳までの京の琳派をご紹介します。

京都で生まれ、育まれた琳派は、古典的な要素を含みつつも常にその時代における新しい美として愛されました。またその作品は、飾り、使いながら愉しました。身の回りを彩る美として、絵画や工芸といった領域を超えて、さまざまなジャンルに応用され、親しまれる京の琳派をご堪能ください。



会期中のイベント

- ・古香庵茶事
「正午の茶事—名残の趣向—」
※有料・事前申込制
10月22日(土)
- ・ギャラリートーク
講師：福井麻純（当館主任学芸員）
※聴講無料 ただし別途入館料が必要
9月30日(金)11時～
10月15日(日)15時～
- ① 本阿弥光悦書 俵屋宗達下絵
月梅下絵和歌書扇面
- ② 俵屋宗達 伊勢物語図色紙「大淀」
- ③ 尾形光琳 柳図香包
- ④ 尾形乾山 鎏繪牡丹唐草文向付
- ⑤ 中村芳中 扇面貼交屏風（左隻）
- ⑥ 神坂雪佳（案・画）若松鶴図文机・硯箱
すべて細見美術館蔵

次回展予告 驚きの明治工藝展
11月12日(土)～12月25日(日)

